

雑誌の好みと顔の好みに関する研究

－ 目の位置と大きさに着目して －

県立長崎シーボルト大学 森 彩佳

1. まえがき

顔とは目、眉、口、鼻などの各パーツの形と配置のバランスによって成り立っている。これまで顔に関する研究がなされてきた[1]が、雑誌と顔の好みに関する研究はなされていない。そこで本論文は、人が興味を持っている雑誌のジャンルと目の位置と大きさに着目し、両者の関係をアンケート調査により明らかにすることとした。

2. 顔

2. 1 基準となる顔の決定

雑誌の好みと顔の好みに関連性を調べるため、顔と雑誌をそれぞれ定義していきたい。まず目の位置と大きさによって顔を定義する。顔を定義するため基準となる顔を決定する。12人の男性の顔のから平均した顔を作成し、平均した顔から目と、生え際から顎までの顔の輪郭をなぞり基準の顔とした。

2. 2 顔の定義

基準の顔から目の位置と大きさを変えて顔を定義する。基準の顔では顔を5:8に分割した位置に目があった。したがって目の位置は上から5:8、下から5:8、中間の3つの位置をとり、上から位置1、位置2、位置3とした。大きさは基準から縦の高さを1倍、2倍、3倍、4倍、5倍、6倍とし、小さい順から大きさ1、大きさ2、大きさ3、大きさ4、大きさ5、大きさ6と定義する。表1に定義した18種類の顔を示す。

表1 定義した顔

目の大きさ	目の位置		
	1	2	3
1			
2			
3			
4			
5			
6			

3 雑誌

雑誌と顔の関係を普遍的に表現できる法則性を導くため、ジャンルという概念を導入し、個々の雑誌をジャンルに割り振ることにより雑誌の創刊・廃刊に普遍的な法則性を確立することとした。現在発刊されている雑誌を調査したところ、ジャンルは32あれば分類可能であることがわかった。

4. アンケート

4. 1 アンケート項目

アンケート項目を表2に示す。

表2 アンケート項目

項目番号	内容
1	性別を答えて下さい。
2	好きな顔上位3つを選び、番号で答えてください。
3	興味のある事柄上位5つを選び、番号で答えて下さい。

4. 2 結果

雑誌による目の位置を図3に示す。目の位置は雑誌のジャンルによって大きく差が開くことがわかった。目の位置では手芸、ガーデニング、占いの三つが2の値以上となった。またパチンコのみが1以下の値を示した。

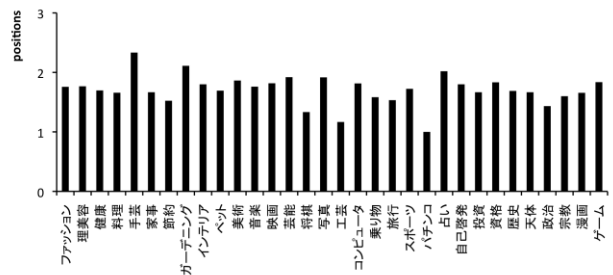


図3 雑誌による目の位置

雑誌による目の大きさを図4に示す。ほとんどの項目で3に近い値を取ることがわかった。

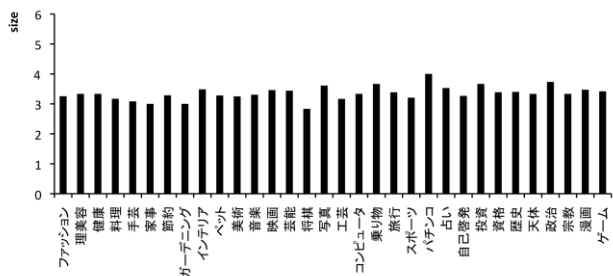


図4 雑誌による目の大きさ

5. 理知度と感性度による雑誌の一般化

さらに雑誌を一般化するために、ジャンルを理知度と感性度という指標を用いて定義することとする。そこで教養や知識を示す指標を「理知度」、感覚的な程度を示す指標を「感性度」と定義し、これらの指標を用いて雑誌を分類することとした。このとき、理知度と感性度は1から5の5段階で定義し、数値が大きくなるほどその傾向が強くなるように定義した。定義した理知度と感性度を表3に示す。

表3 定義した理知度と感性度

雑誌	理知度	感性度
ファッション	2	5
理美容	2	5
健康	1	1
料理	3	2
手芸	3	3
家事	1	1
節約	3	1
ガーデニング	1	3
インテリア	1	3
ペット	1	4
美術	4	5
音楽	1	5
映画	2	4
芸能	1	2
将棋	5	1
写真	4	4
工芸	5	5
コンピュータ	5	2
乗り物	2	3
旅行	3	5
スポーツ	3	4
パチンコ	2	1
占い	2	2
自己啓発	5	4
投資	4	1
資格	3	1
歴史	4	3
天体	5	3
政治	4	2
宗教	2	2
漫画	1	2
ゲーム	2	1

6. 顔の好みについて

6.1 理知度と感性度ごとの顔の好み

理知度と感性度を用いて顔の好みについて調べる。理知度が上がるにしたがい目の位置はわずかに変化した。全体的に大きな差は出ず、理知度にかかわらず目の位置は約2の値をとることがわかった。感性度による目の位置は感性度にかかわらず目の位置は約2の値が好まれることがわかった。目の大きさについても理知度と感性度による差はあまり出なかった。理知度と目の大きさの関係では理知度にかかわらず約3の値が好まれることがわかった。

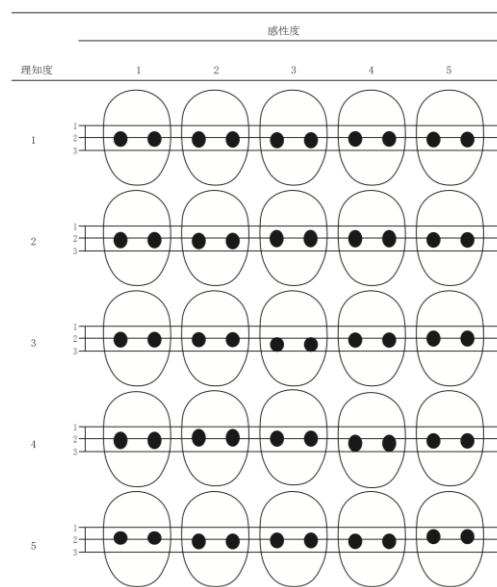
6.2 顔の好みに対する男女差

理知度と目の位置の関係には男女間で差があることがわかった。理知度にかかわらず男性は女性と比較し目の位置の値が小さくなる傾向があった。感性度と目の位置の関係では、感性度にかかわらず男性は女性と比較し目の位置の値が小さくなる傾向があった。次に目の大きさについて見る。理知度による目の大きさでは、理知度にかかわらず男性は女性と比較し目の大きさの値が大きくなることがわかった。感性度による目の大きさでは、感性度にかかわらず男性は女性と比較し目の大きさの値が大きくなることがわかった。

6.3 理知度と感性度の組み合わせによる顔の好み

理知度と感性度を組み合わせた場合について目の位置と大きさを調べたところ、目の位置と大きさに差があることがわかった。理知度と感性度の組み合わせによって得られた目の位置と大きさから顔を作成した。作成した顔を表4に示す。同表より理知度と感性度ともに4の値の時に童顔であり、額が広く目が大きくなることがわかった。また理知度5、感性度1の値の時に目の位置が高く小さくなることがわかった。

表4 理知度ごとの顔



7. あとがき

本研究では人が興味を持っている雑誌のジャンルと目の位置と大きさに着目し、両者の関係を考察してきた。理知度と感性度という指標を用いて雑誌と目の位置と大きさの関係を導き出した。本研究の対象は20代前後が中心であったが、読者の年齢層により顔の好みは異なると思われるが、これについては今後の課題としたい。

参考文献

[1] 山田貴恵, 笹山郁生:顔のパーツから形成される印象と顔全体から形成される印象との関連性の検討, 福岡教育大学紀要, 第48号, 第4冊分, pp229-239, 1999